

幸 橋

<平戸小学校だより19号>

～思いやりのある子供～
～自ら考え工夫する子供～
～たくましい体と実践力のある子供～

令和4年2月14日
平戸市立平戸小学校
文責 校長 山村昭文



外国語活動

11月からALTのニック先生に外国語の指導に来ていただいています。平戸市に来るALTの先生方もコロナの影響で、来日が遅れる状態が続いていましたが、やっと10月頃から来日できるようになり平戸市には、現在7名のALTの先生に来ていただいています。もちろん授業は担任が進めますが、補助として行うネイティブな発音はALTの先生のようにはいきません。ニック先生は、温和で優しい人柄で、子供たちとも打ち解けて、楽しく指導に当たってくれています。日本語も上手になってきています。昨年から続くコロナの影響で、一時期、ALTの配置が少ない頃もありましたが、現在は活動できるようになっています。



給食集会

3(木)は、延期していた「給食感謝集会」を録画を放送する形で行いました。従来は時間を取って、全校児童が体育館に集まって行っていたが、コロナ禍の現状ですので、各学級で給食の時間の一部にビデオ放送の形で行いました。給食委員会の子供たちは、何度か録画をやり直ししながら、テレビを通して全校のみんなに伝わりやすいように工夫していました。各教室でビデオを視聴する子供たちは、発表を静かに聞いたり、クイズで盛り上がりたりしていました。

そして、給食が提供されるまでには、生産者から調理・運搬に携わる方々、準備や献立づくりなど、たくさんの人によって支えられていることをしっかりと学びました。



節分の行事

3日(木)は節分でした。給食では豆が出たり、学級では衛生面に気をつけて豆まきをしたりしました。3校舎の掲示板上には、「〇〇鬼を追い出して」として、あわてんぼう鬼やわすれんぼう鬼に泣き虫鬼など、自分の苦手なことをふり返って、がんばろうという決意が感じられる掲示がされていました。



日本の伝統的な季節的行事もコロナ禍で制限されることが多い今日ですが、できる形で行って、引き継いでいきたいものです。「コロナ鬼を追い出して、みんなが安心して暮らせる社会」が早く戻ってくることを願います。

メディアコントロール

9日(水)～15日(火)の期間で平戸小・田助小・平戸中の3校合同で「メディアコントロール」の取組を行っています。テレビはもとより、スマホにタブレットとメディアの媒体は、今や世の中に溢れています。SNSやゲームへの過度な依存は今や他人事ではなく、本校の調査でも長時間の使用が問題になっています。今やメディアを利用しないというのは、ほぼ不可能な時代になってきています。

だからこそ、使い方やマナーを身に付けていかなければなりません。学校でもメディア教育を定期的に行っていますが、家庭での利用は家庭でしっかりと把握して、行き過ぎた利用にならないよう注意してください。特にSNSでのやり取りや夜間のオンラインゲームなど、子供たちの心や体を傷つける可能性があります。親として、子供がどのような利用をしているのかしっかりと捉え、正しい利用方法を身に付けさせてください。